

誓子の日記

大変なことになっている！

二〇〇七年二月、あたたかい冬でした。しかし、タダの暖冬とされている人は少ないのではないのでしょうか。みんなどこかで、なにかしらの地球の変化を感じている筈です。

私もその一人です。実は、先日ニュースを見ていて目を疑いました。私は北海道生まれで、十二歳まで札幌郊外に住んでいました。二月初旬はもつとも雪深い、一番寒い時期です。一面雪です。当時は、毎日雪はね（家の前の除雪）した雪が家の周りに積み重なって大人の背丈ほども高くなつたものです。そして「さっ

ぼろ雪祭り」、防寒着を着てビル程の高さのある雪像を毎年見に行きました。

先日その札幌で、二月といつの日に雨が降り、道路を歩き交う車が水しぶきを上げていた映像を見たのです。雪祭りの雪像が溶けないように、ブルーシートで覆って

いるのです。本当に信じられない気持ちでした。このまま、地球はどうなってしまうのでしょうか。

他にも、いろいろな新しい感染症（SARS、鳥インフルエンザ等）が発生したり。我が家の悪ガキたちが大人になった将来、日本に四季があるのだろうか。

私はとても不安になりました。



二月十日に行われた「第八回みんなでいっしょにスキーに行きましょう」の写真。こらんのようにスキー場は全く雪がありません。ここままだと広島のスキー場は…

また別の番組で世界の環境学者たちが、地球全体の気温の上昇について、「今が瀬戸際」「何とかすれば引き返せる」「後戻りできなくなるまではもうすぐ（十年単位で）」と言う内容の見解を話していました。もうそういう段階まで来ているのです。そうは思っても、なかなか今の生活を変えられない愚かな私達。で

きることから始めよう！と思うと、「厚着して暖房の温度をさげる」「買い物には手提げ袋を持って行く」「環境にいいものを選んで買う」「コンビニで割り箸やスプーンをもらわない」などなど、がんばっています。みなさんも、いっしょにいかがですか？できることから。子供たちの将来のために。

省エネ共和国 南無阿彌陀仏安芸の國 — わが家もマイお箸 —

「省エネ共和国南無阿彌陀仏安芸の國」（安芸南組連続研修「連研」が「縁となつてきた、真宗の環境問題に取り組みむ会」二月・三月の取り組みは「マイお箸・マイカップ」。

日本の割り箸は九七%が輸入。そのうち九九%は中国から。日本製の割り箸は、間伐材から作るの

境に良い。しかし中国製は皆伐方式。割り箸のために、また不要な樹木まで根こそぎ伐採するので、きわめて環境に悪く、砂漠化が問題になっている。その割り箸を、日本人は二八〇億膳（木造二階建て家屋にして年間二万軒分に相当）を使い捨てしている。温暖化への影響は、はかり知れない。

そこで、わが家も二月にマイお箸デビューしました。デビュー初日、掛け声はよかつたものの、お店に着いたら持つてくるのを忘れていました。止める家族を振り切つて、私（編集者）は取りに帰りました。

ついにやったぞ！超自己満足。しかし、家に到着する頃、私、車で取りに帰ったことに気づきました。

「ガンリン使う方がもっと悪いじゃないか！」皆に突っ込まれました（涙）。

みみずくの会で エンカウンターグループ



みみずくの会とは、広島真宗カウンスリング学習会（事務局は編集者）から生まれた、ミニカウンスリングの実習会。毎月広島別院で行われている。昨年十二月末、初めて一泊でエンカウンターグループが行われた。エンカウンターとは「出会い」「自己との出会い」「他者との出会い」。個人の心理的成長、コミュニケーションおよび対人関係の発展と改善を目的とする。ファシリテーター